

My City Kawaguchi マイシティかわぐち

8/31(月)

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020 記者発表

主催者からのビデオメッセージを上映。今年の映画祭は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信されることが発表されました。



9/12(土)

市長百歳長寿者訪問

100歳を迎えるかたを市長が訪問。長年にわたる社会貢献に敬意を表して記念品を贈呈し、長寿を祝福しました。



内田 幸治さん



仁平 はまさん

ありがとう旧本庁舎

8月から取り壊しが始まった旧本庁舎。60年前の完成当時の様子を振り返ります。

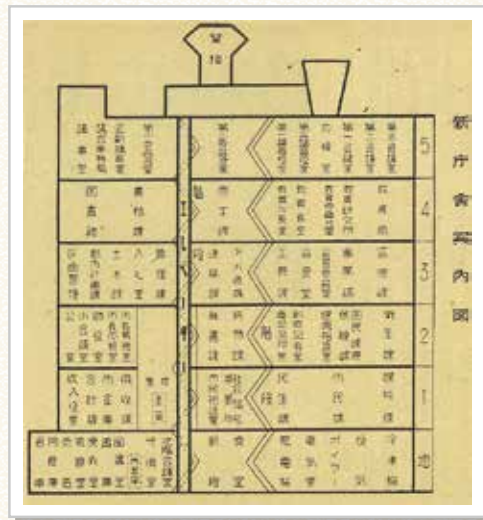


旧本庁舎の供用開始▶

地上5階地下1階の庁舎は市民のための総合庁舎として昭和35年(1960年)正月から執務を開始しました。

◀旧本庁舎建設

昭和33年(1958年)2月、別館を焼失したため、庁舎を改築しました。昭和34年(1959年)12月に竣工。工事費は2億7,400万円(当時)でした。



日々取り壊されていく旧本庁舎。来年中頃までには、全ての取り壊しが完了する予定です。

★旧本庁舎の定礎箱に納められていたものは12月25日(金)まで第一本庁舎2階で展示しています。





みんなでつくる 川口の元気

vol.70

今年、310万人もの尊い命が犠牲となった先の大戦が終結してから75年の節目を迎えました。時代は昭和から平成、そして令和へと移り変わり、戦争を体験していない世代が人口の8割を大きく上回っています。戦争を体験したかたがたの高齢化が進み、その記憶や教訓、切なる平和への願いをどのように戦後世代へ継承していくのが大きな課題となっています。

かくいう私も戦争を体験していませんが、本市で毎年開催している平和展や戦没者追悼式で戦時の過酷な状況に思いを馳せるたび、また、広島や長崎に自ら赴き、被爆の実相や戦争の悲惨さに触れるたび、今日の平和な日常がどんなに尊いものか深く考えずにはられません。

ご存じのとおり今年は、新型コロナウイルス感染症が突如として世界中に襲いかかり、私たちの平和な日常を大きく脅かしています。コロナ禍でのウイルスとの闘いも、核兵器やテロ・紛争などが依然として存在する世界で平和を希求することも、全人類が一丸となって取り組むべきことです。しかしながら、核兵器や銃弾のほうが、極めて凄惨に私たちから日常を奪うことは言うに及ばないと同時に、戦争や核兵器の使用は、人間が止めようと思えば止められるのです。

私は、コロナ禍を経験した今こそ、戦後世代が自分のこととして、平和を守ることの大切さについて考え行動することができると思っています。

「川口市民は、未来に向かい、平和で豊かな社会を築き、次代に引き継ぐため、平和への願いを結集し、市民一人ひとりが努力することを誓い、ここに平和都市を宣言する。」

川口市平和都市宣言の一節です。今一度この言葉をかみしめて、私たちの代だけでなく、これから生まれてくる次の世代にも、この平和への想いを引き継いでいきましょう。



平和への想いを次の世代へ

川市長 奥ノ本信夫



8/21(金)

川口の元気 第5回中高生未来を拓くふれあいトーク

中央ふれあい館で開催。新型コロナウイルス感染症対策として、例年より参加人数を減らして行いました。次世代を担う中学生と高校生が市政に関して市長にさまざまな質問を投げかけ、交流を深めました。



9/2(水)

災害対策本部訓練

令和2年9月1日17時00分にマグニチュード7、震度6強の地震が起きたことを想定して、災害対策本部訓練を実施しました。今回の訓練は、第一本庁舎へ移転して初めての訓練となりました。

市広報番組「ふれあい川口」

J:COM川口・戸田/J:COM埼玉東 10月5日～11日
(月～金曜日12:00～12:30、土・日曜日9:00～9:30)
市ホームページ 10月5日～